



いばらき県議会だより

No.211

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>

「いばキラTV」 <https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています

音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々、影響を受けられた方々に心より御見舞い申し上げます。

県議会としても、県民の皆様の安全・安心を守るため、感染拡大の防止、必要な支援に全力で取り組んでまいります。

1人ひとりの安心・安全な生活を守るために

- ◆毎日のうがい・手洗い・咳エチケットを心掛けましょう。
- ◆密閉・密集・密接した空間を避けるとともに、不要不急の外出を控えましょう。
- ◆不当な差別・偏見につながらないように、相手の立場に配慮した言動を心掛けましょう。



県民全員で力を合わせ、再び平穏な生活を



第一回定例会の概要

令和二年第一回定例会は、二月二十七日から三月二十四日まで二十七日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書など、知事から、令和二年度茨城県一般会計予算などが提出されました。このうち同一一般会計予算については、防災環境産業委員会での審査の結果、否決され、その後の予算特別委員会において減額修正案が提出・可決され、本会議において修正可決されました。

代表質問は、新型コロナウイルス感染症への対応、県北振興、災害発生時における迅速な初動体制などの項目について行われました。(二～三面)

一般質問は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休校要請への対応、気候非常事態を踏まえた地球温暖化防止対策の推進などの項目について行われました。(四～六面)

各常任委員会では、付託議案の審査、他所管事務に関する質問を行い、つくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力づくり、アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業、新型コロナウイルス感染症への今後の対策、令和元年東日本台風により被災した河川の復旧状況などを議論しました。(八～九面)

予算特別委員会では、学校給食の安定供給へ向けた対応、摂食障害の相談窓口の周知、アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業などの質疑を行いました。(七面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書などの九十一件の議案が可決、修正可決、同意、承認されました。

※代表質問(2～3面)、一般質問(4～6面)、各常任委員会(8～9面)については、県内での新型コロナウイルス感染者が確認されるより以前に行われたものです。

代表質問※1(要旨)



福地 源一郎 議員
いばらき自民党
日立市選出
一括方式

新型コロナウイルス感染症への対応

議員 新型コロナウイルスは衰えを見せていないが、必ず制圧できるものと確信している。しかし、県民が不安を抱いており、本県では受け入れた二十名を超える感染者のうち、既に九名が退院したという報告もあるが、今後、感染拡大に対する県民の安全確保と、感染防止にどのように対応していくのか。

知事 私を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、児童・生徒、保護者への対応を適切に行うことをはじめ、全庁一丸となつて対策をとるよう指示したところ。引き続き感染症に関する適切な情報提供に努めるとともに、検査や入院医療体制を強化するなど感染拡大防止に向けて全力で取り組んでいく。

財政健全化と事業の選択

議員 中小企業の休業リスクに対応した事業継承対策は、財政健全化の一環として有効ではないかと考えるが、財政健全化に向け、どのような考えで事業の選択を行ったのか。

知事 県では、従来の中小企業の事業継承策から一歩踏み込み、M&A※2による第三者承継を促進するほか、高度なスキルを持った人材とのマッチング支援、新規ビジネスへのチャレンジ促進など、新しい施策にスピード感をもって積極果敢に取り組むことにより、本県産業の競争力強化を図り、健全で持続的な財政運営を進めていく。

水産資源復活への取り組み

議員 水産資源の回復が見通せない状況に、県内の漁業者が不安を抱いている。資源回復に資する新たな漁業再生の方策について、新たな栽培漁業の取り組みの考え方を含め、どのように取り組んでいくのか。

知事 資源変動に左右されず、

自動車盗難事件等への対応

議員 本県の自動車盗難事案は、認知件数、犯罪率ともに全国ワーストであるが、検挙件数が全国トップとの結果を出している。そこで、犯罪発生時に的確な対応の取れる体制の整備など、自動車盗難事案の取り組みをどう進めていくのか。

警察本部長 令和二年度の組織改編で、所管する捜査第三課の増員や外国人犯罪に対応する国際捜査課の新設のほか、「情報分析支援システム」の活用による効果的な事件分析や装備資機材の設置推進など、今後とも検挙率の向上を図るため、警察の



新たな養殖産業の創出を目指して

茨城県いじめの根絶を目指す条例への対応

議員 いじめの根絶には、まさに社会総がかりで対策を展開することが不可欠と考えるが、「茨城県いじめの根絶を目指す条例」の今年四月からの施行を踏まえ、どう取り組んでいくのか。

県議会の録画中継をご覧いただけます

県議会のホームページでは、これまでに開催された各定例会における、知事の提出議案説明、各会派議員の代表質問、一般質問、予算特別委員会質疑などの様子を録画中継でご覧いただくことができます。

議会活動を文字で読むだけでなく、議場における各議員の質問・質疑の様子を映像と音声で見聞きすることで、県政で議論されている問題を、より身近に感じていただけます。

県議会の録画中継は、以下のURL又はQRコードからご覧いただくことができます。

県議会ホームページ
(録画中継コーナー)



<https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>

QRコードを掲載しました

代表質問者(2面)、一般質問者(4面)、予算特別委員会質疑者(7面)および4月臨時会代表質疑者(12面)にQRコードを掲載しました。こちらから質問などの録画映像をご覧いただけます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

録画中継

会議名でさがす

議員名でさがす

会派名でさがす

用語検索

検索対象は、会議名、議員名、会派名、質問項目です。



質問者

3月3日(火)

福地 源一郎 (いばらき自民党)

3月4日(水)

齋藤 英彰 (県民フォーラム)
高崎 進 (公明党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧いただけます。

※1【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といい、茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができる。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問という。

※2【M&A】…Mergers and Acquisitionsの略語。企業の合併・買収の総称で、近年では中小企業などにおける事業規模の拡大や事業の承継などを目的として行われることもある。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる議会傍聴についてのお願い

本会議や委員会の傍聴につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、極力、ご遠慮願います。

なお、どうしても傍聴を希望する場合は、傍聴受付での体温の測定により37.5度以上の発熱がないこと、強いだるさや息苦しさがないこと等を確認の上、傍聴を認めることとなります。

その際は、マスク着用や咳エチケット、手洗いの徹底をお願いいたします。

詳細は議会事務局議事課にお問い合わせ願います。

お問い合わせ先

議会事務局議事課 電話 029-301-5634

県議会の情報公開について

県議会情報公開制度は、広く開かれた県議会の実現のため、公文書を開示、提供する制度です。

また、インターネットを利用した開示請求もできるようになっています。詳細については、お問い合わせください。



茨城県議会議場

お問い合わせ先

議会事務局総務課 電話 029-301-5613

県議会だよりに関する感想や意見をお聞かせください

県議会だよりは、県議会の活動を広く県民の皆様に知っていただくため、原則として、年4回開催される各定例会後に発行しています。

主に新聞への折り込みにより県内各世帯へと配布しているほか、県内の大学と高等学校3年生などにも配布しています。

なお、過去の県議会だよりは、県議会ホームページからご覧いただけます。

より良い県議会だよりとするため、感想や意見などがございましたら、お聞かせください。

■県議会ホームページ(県議会だよりコーナー)
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/index.htm>

お問い合わせ先

議会事務局政務調査課
 電話:029-301-5646 FAX:029-301-5629
 E-mail:gikai@pref.ibaraki.lg.jp

代表質問(要旨)

県北振興



齋藤 英彰 議員
 県民フォーラム
 日立市選出
 一括方式

議員 県は、県北振興チャレンジプランを策定するなど県北振興に重点的に取り組んできたが、地域活性化には、民間の力を引き出し活用することも必要である。これまでの評価と今後の取り組みは。

知事 産業振興など各分野の取り組みは着実に進み一定の成果が出ている。今後は、成長が期待される医療・宇宙機器分野に挑戦する企業への支援や、常陸牛生産体制の構築と品質向上などの取り組みを、民間活力を積極的に取り入れながら進めていく。

地域医療体制の充実

議員 県が策定する医師確保計画に沿った実効性のある対策を期待したい。厚生労働省による再編・統合が必要な医療機関の指定については、地域実態に即した対応を望む。地域医療体制の充実は今後どう取り組むのか。

知事 医師確保は各医療圏の実情を分析した上で明確な目標を設定し、最優先で進める。医療提供体制は厚労省の指定の有無にかかわらず、地元の医療機関や住民代表などで構成する地域医療構想調整会議で協議が進められている。県では、診療実績のデータ提供や専門家による助言など必要な支援を行っていく。

議員 民間の力も活用して、英語及びプログラミング教育を充実させるとともに、ICT教育

英語及びプログラミング教育の充実とICT教育先進県の実現



ネイティブスピーカーを活用した英語教育の様子

(ほかに、県総合計画の進捗、災害に強い茨城づくり、中小企業への支援なども質問)

先進黨を早期に実現することが不可欠と考えるが、所見は。

教育長 生徒の英語力を高めるため、ALT^{※1}の活用や教員の指導力向上に取り組む。民間企業の専門家によるプログラミング教育や、ネイティブスピーカーによる英語の授業を遠隔で実施するなど、ICT教育先進県としての取り組みを充実させる。



高崎 進 議員
 公明党
 水戸市・城里町選出
 一括方式

災害発生時における迅速な初動体制

議員 災害時は、迅速な初期活動が人命救助や被害拡大防止の上で重要である。住民の安全を守るためにも、消防施設の浸水対策をどう促進していくのか。

知事 県では、市町村長などに対し「緊急防災・減災事業債」を活用した早急な消防署の浸水対策や、災害時の円滑な業務遂行に向け、「業務継続計画^{※2}」策定を要請したところである。特に、浸水想定区域内の三十三消防署については、工程表の作成など、万全な浸水対策を講じるよう、強く働き掛けていく。

国・県一体となった総合治水対策の推進

議員 昨年の水害を踏まえ、今後は国・県が一体となり、流す・ためる・備える対策といった、多面的な総合治水対策が必要と考えるがどう推進していくのか。

知事 那珂川・久慈川においては、国・県、市町村が一体となり堤防整備などの河川整備や遊水機能の向上を進めるほか、浸水想定区域での、条例に基づく土地利用制限などにより被害の最小化を目指す。さらに住民の迅速な避難を促進するマイ・タイムライン^{※3}作成支援など、効果的な施策を組み合わせた総合的な治水対策を着実に推進していく。

新型コロナウイルスへの対応

議員 新型コロナウイルス感染症が急速に拡大する中、県民への情報周知や検査・治療体制整備



那珂川などの氾濫により浸水した水戸市飯富・藤井・岩根地区

備にどう対応していくのか。

知事 県民への感染予防策や受療行動などの情報提供のほか、「帰国者・接触者相談センター」で相談に応じている。また、医療機関と連携し、感染を疑う場合は県衛生研究所でPCR検査を実施している。引き続き、適時適切な情報提供と検査・医療体制の強化に努めていく。

(ほかに、SDGs^{※4}達成に向けた取り組み、私立高等学校等への就学支援なども質問)

ことば ※3【マイ・タイムライン】…風水害の時に、個人が避難するために取るべき行動を時系列にまとめたもの。
 ※4【SDGs】…2015年9月に国連総会で採択された17の目標などからなる行動計画。「誰も置き去りにしない」を基本理念に、国際社会が2030年までに目標達成を目指す。

一般質問(要旨)

●質問者

議場での質問の様子は、こちらから
録画映像でご覧になれます



3月5日(木)

星田 弘司 議員
(いばらき自民党)

遠藤 実 議員
(県民フォーラム)

石塚 隼人 議員
(いばらき自民党)

飯田 智男 議員
(自民県政クラブ)

3月6日(金)

山野井 浩 議員
(いばらき自民党)

長谷川 重幸 議員
(いばらき自民党)

3月9日(月)

江尻 加那 議員
(日本共産党)

沼田 和利 議員
(いばらき自民党)

八島 功男 議員
(公明党)

下路 健次郎 議員
(いばらき自民党)

3月10日(火)

外塚 潔 議員
(無所属)

萩原 勇 議員
(いばらき自民党)



遠藤 実 議員
県民フォーラム市選出
那珂市選出
分割方式

気候非常事態を踏まえた 地球温暖化防止対策の推進

議員 自然災害大規模化を通して、各人が気候変動を感じ始めた今、県はどのように気候変動を認識し、気候非常事態宣言の発出を考え、地球温暖化対策を推進するのか。知事 社会全体で地球温暖化への危機感が高まっていると認識している。危機意識共有のため、宣言の発出も一方法であるが、併せて実効性ある施策提示も必要である。まずは国などの動向を注視し、二酸化炭素排出削減目標の見直しなどの検討を行っていく。

フードバンク活動に対する支援

議員 組織横断的なフードバンク活動支援体制の整備を要望したい。今後どのように組織体制を充実させ、食品ロスの削減や、フードバンク活動の支援に取り組むのか。知事 今後は、現在の食品ロス削減庁内連絡会議を核として、NPO、食品流通業界、消費者団体など幅広い分野の方と連携を図り、食品ロスの削減に取り組み、フードバンク活動がより活発に行われるよう連携強化などに努めていく。(ほかに、地区防災計画策定への支援、交通弱者対策なども質問)



「きずなBOX」は、フードバンク活動を支える「きずなBOX」です。



飯田 智男 議員
自民県政クラブ
常総市・八千代町選出
一括方式

圏央道周辺地域の企業誘致支援

議員 圏央道周辺地域は企業立地のニーズが高く、開発には県の後押しが不可欠である。未来産業基盤強化プロジェクトに期待しているが、当地域の企業誘致を具体的にどう支援していくのか。知事 本プロジェクトにより、市町村の開発に係る事業主体や事業手法、各種許認可などへのきめ細かな助言や国との調整などを部局横断的な体制で全面的に支援しながら、立地ニーズが高い地域の産業用地開発を促進していく。

茨城空港を利用した周遊観光の 取り組み

議員 県は東京直行バスへの補助を打ち切り、県内での周遊客確保に舵を切った。茨城空港などを利用したインバウンド向けの周遊観光を今後具体的にどう進めるのか。営業戦略部長 個人向けに実施している周遊タクシーの利用を一層促進するとともに、茨城空港とのアクセスバスなどの連携を進める。併せて団体ツアーバスへの支援を行い、周遊観光の促進を図る。(ほかに、併設型中高一貫教育校の現状とそその目指すところ、信号機設置整備なども質問)



用地造成中の圏央道常総IC周辺



星田 弘司 議員
いばらき自民党
つくば市選出
分割方式

新型コロナウイルス感染症の 拡大に伴う臨時休校要請への対応

議員 より配慮の必要な特別支援学校の児童生徒や、小学校低学年の児童の保護者で休みが取りにくい保護者への対応などが大きな課題となっている。県の対応は。教育長 児童生徒の健康面および安全面に配慮することを最優先に対応している。保護者が仕事を休めない場合に課題となる子供の預け先の確保、長期休業中における子供の生活面や学習面などに対する不安が解消されるよう、市町村とも連携して対応を進めていく。

つくば特別支援学校の過密対策

議員 つくば特別支援学校の深刻な過密問題を解決するために、抜本的な、より効果のある対策が必要だと考える。新たに策定した「県立特別支援学校教育環境整備計画」に基づき、同校の過密対策をどのように進めていくのか。教育長 つくば特別支援学校は、整備計画において優先的に対応すべき学校のひとつと位置付けており、不足教室の抜本的な解消に向けて、校舎の増築を進めていく。(ほかに、がん患者支援、国土強靱化地域計画の策定なども質問)



子どもたちの笑顔を守るため
新型コロナ対策の推進



石塚 隼人 議員
いばらき自民党
坂東市・五霞町・境町選出
一括方式

夢と特色と魅力にあふれる 坂東清風高校の学校づくり

議員 今年四月より新たに坂東清風高校が誕生する。同校の成功に向け、地域や坂東市とも知恵を出し合い、その声を学校運営に生かし、私立高校や中高一貫教育校以上に選ばれる学校づくりを進めてもらいたい。今後の取り組みは。教育長 総合学科と農業に関する学科を持つ強みを生かし、学校独自の商品プロデュースに取り組み。この体験を通し、課題を見つけて対応する能力を育むとともに、生きる力や人間力を養っていく。

街頭防犯カメラの整備促進の 取り組み

議員 警察官のマンパワーを補うため、犯罪の抑止や検挙に資する街頭防犯カメラの整備促進が重要だと考えるが、今後の取り組みは。警察本部長 通学路などの街頭防犯カメラ未設置箇所への設置が必要と考える。市町村に街頭防犯カメラの設置を働き掛けるほか、県警察による街頭防犯カメラの効果的な整備促進方法について、財政当局とも協議しながら判断する。(ほかに、地下鉄八号線の県内延伸に向けた地域づくり、ニセ電話詐欺対策なども質問)



生徒たちが丹精込めて育てたシクラメン

福島・茨城・栃木・群馬・新潟 五県議会議長会が開催されました

一月二十一日から二十二日にかけて、栃木県足利市において、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、森田悦男議長と伊沢勝徳副議長が出席しました。会議は、「地方自治体における国際戦略について」をテーマとして行われ、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)企画部総括審議役から、企業の国際展開を後押しするために求められる施策についての講演が行われた後、各県の取り組み状況などについて、意見交換を行いました。意見交換では、森田議長が「いばらきグローバルビジネス推進協議会」を軸とした海外展開支援や、茨城県外国人材支援センターによる外国人材の活用促進、茨城空港の活用によるインバウンド対策などについて発表し、活発な議論が行われました。また、社会福祉法人が運営する障害者支援施設のワイン醸造場を視察し、施設の沿革や障害者による作業などの説明を受けました。



会議に参加する森田議長(左側)と伊沢副議長(右側)

一般質問(要旨)



議員 山野井 浩
いばらき自民党
つくばみらい市選出
一括方式

本県の畑作物の生産振興

議員 条件が良い畑にもかかわらず放置され、農地が十分に活用されていない地区もある。高い収益を期待できる品目の導入を、一層推進していくべきではないか。
農林水産部長 近年の需要見込みと、周年出荷による安定収益などにより、かんしよの生産拡大に取り組むこととし、茨城かんしよトップランナー産地拡大事業を創設した。来年度は一層の生産拡大に取り組むとともに、かんしよに続く重点品目を検討していく。



議員 長谷川 重幸
いばらき自民党
鉾田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

アクアワールド茨城県大洗水族館の魅力向上策

議員 アクアワールドのさらなる魅力向上を図るため、どのような思いでジンベエザメの導入を決めたのか、また今後、渋滞対策にどう取り組んでいくのか。
知事 サメの飼育種類数日本一という強みを強化するため、ジンベエザメの展示を決定した。渋滞対策として、駐車場の確保や交通対策を進める。また、広域的な道路ネットワークの強化や公共交通サービスの充実について関係者が一体となって検討していく。

国道二九四号の渋滞緩和

議員 国道二九四号の渋滞緩和に向けた、都市計画道路玉台橋・西橋戸線および(仮称)つくばみらいスマートICと県道常総取手線の整備の見直しは。
土木部長 都市計画道路玉台橋・西橋戸線は、四車線整備や右折車線の二レーン化などを検討している。市およびネクスコ東日本によるスマートICの整備と併せて、県道常総取手線の整備を推進していく。

(ほかに、障害者支援、港湾の利活用推進にかかる防災・減災対応なども質問)



収益性が期待できる作物の振興を

水鳥・湿地センター整備に伴う酒沼の利活用の推進

議員 センターの整備に伴い、地域と一体となった酒沼の豊かな自然環境の保全と利活用を推進するため、どう取り組んでいくのか。また、整備の進捗状況は。
県民生活環境部長 センターの整備により、酒沼の魅力を県内外に発信できる。地元市町や関係機関と連携し、環境学習会の実施など、ワイズユース[※]を推進していく。

国によれば、早ければ令和三年度に建設工事を開始する見通し。(ほかに、施設園芸農家の支援、キャリア教育の推進なども質問)



ダイナミックなイルカショー(アクアワールド茨城県大洗水族館)



議員 江尻 加那
日本共産党
水戸市・城里町選出
一括方式

認可外保育施設の重大事故防止と改善策

議員 乳幼児二人の死亡事故が起きた水戸市内の認可外保育施設は、県が立入調査をしていたが、国の基準を満たしていなかった。県は死亡事故の事実や施設の基準違反を、なぜ公表しなかったのか。再発防止策を行う考えはあるのか。
知事 今後は、「重大事故の再発防止のための事後的検証委員会」からの提言を踏まえ、原則として事故の概要や立入調査結果を公表していく。また、巡回指導を拡充するなど、指導監督を徹底していく。



議員 沼田 和利
いばらき自民党
牛久市選出
一括方式

県立高校の校則の見直し

議員 生徒の多様性を踏まえ、個々の実情に対応した校則や生徒の健全な育成と発達に資する校則が必要だと考えるが、県立高校の校則の見直しをどう推進するのか。
教育長 学校を取り巻く環境は毎年変化しており、校則も、生徒や保護者の価値観の多様化に応じた見直しが必要と考える。各県立高校には、生徒総会やPTA総会などの機会に、生徒や保護者の意見を聞くなどし、今夏を目途に校則の見直しを図るよう指導する。

東海第二原発の再稼働問題

議員 原発の安全性検証をどう進めるのか。また、避難計画の課題は解決できるのか。廃炉が現実的選択ではないか。県民の声を聞くべきとの世論に、どう応えるのか。
知事 安全性検討ワーキングチームで検証をし、二月からは県民意見を踏まえた検証を開始した。避難計画の課題は、国や市町村、関係機関と共有し解決に取り組んでいる。安全性検証、避難計画策定の上、情報提供し県民意見を聞いていく。

(ほかに感染症対策、特別支援学校の環境整備なども質問)



安全性検討ワーキングチームでの検証の様子

消防職員の教育訓練の充実強化

議員 高層建築物で災害が発生したことを想定した消防職員の教育訓練の充実強化は重要と考えるが、今後どう取り組むのか。
防災・危機管理部長 消防学校での高層建築物の火災を想定した訓練に加え、実際の火災現場を疑似体験できる装置を活用した実践的かつ高度な訓練に取り組み、消防職員の教育訓練の充実強化を図る。

(ほかに、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック競技大会、つくばへリポートの今後の在り方なども質問)



消防職員の訓練の様子

魅力向上に関する調査特別委員会を設置しました

本県を取り巻く環境は、急激な人口減少や社会経済のグローバル化、情報通信技術の劇的な進歩など、変化のスピードがますます加速しています。そうした中、魅力いっぱい「新しい茨城県」を目指し、希望にあふれた誇りある郷土茨城を創り上げ、次の世代に引き継いでいくことが求められています。

本県は、豊かな自然や暮らしやすい気候風土、特色ある歴史・文化、世界最先端の科学技術や高度なものづくり産業の集積に加え、全国トップクラスの産出額を誇る農業や整備が進む広域交通ネットワークなどを有しています。

一方、民間会社による調査では、本県の魅力が十分に認識されていないことから、国内外の方々にも茨城に住みたい、訪れたいと考えてもらうためにも、本県が持つ特色ある地域資源に一層磨きをかけ、県民が愛着と誇りを持つことのできる、魅力ある郷土づくりを推進していくことが不可欠です。

議会においても、多様な角度から横断的・集中的に審議し、県の魅力向上について適切に提言を行うことが重要です。

そこで、「県の魅力向上に関する諸方策の在り方」について調査するため、「魅力向上に関する調査特別委員会」を三月二十四日の本会議において設置しました。委員の構成は十五名で、次のとおりです。

委員長	川津 隆	委員	山野井 浩
副委員長	星田 弘司		坂本 隆司
委員	西條 昌良		二川 英俊
	飯塚 秋男		八島 功男
	細谷 典幸		白井 平八郎
	中村 修		玉造 順一
	田口 伸一		豊田 順一
	金子 晃久		茂

※【ワイズユース】…ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)に記載された考え方で、湿地の生態系を維持しつつ、そこから得られる「恵み」を持続的に活用すること。

一般質問(要旨)



議員 功男 八島
 党 明 所属
 選 浦 所属
 方 土 方式

避難所運営と性的マイノリティへの配慮

議員 都道府県で初めてパートナーシップ宣誓制度を導入した本県の「市町村避難所運営マニュアル基本モデル」には性的マイノリティへの配慮を明示すべき。所見は、防災・危機管理部長 SDGsの観点からは、性的マイノリティを含む全ての避難者がストレスなく避難所生活を過ごせる環境整備は大変重要である。市町村の意見を踏まえ早急にモデル改定を行う予定であり、性的マイノリティの位置付けを積極的に検討していく。

学校のICT環境整備とGIGAスクール構想

議員 国の予算措置を踏まえた学校のICT環境整備とGIGAスクール構想推進への取り組みは、教育長 国の構想を活用してICT環境が充実すれば、質の高い教育の実現が期待される。市町村で整備状況に差が生じているため、計画的な整備に向けた説明会を実施した。今後はICTを活用した授業の在り方の研修を実施するなど、教育環境整備を推進していく。(ほかに、県民所得と県内総生産の向上、茨城創生SDGsの推進なども質問)



GIGAスクール構想の実現を



議員 潔 外塚
 所 無 所属
 属 所属
 市 所属
 選 所属
 出 所属
 方 所属
 式 所属

ナショナルサイクルートの指定を契機とした地域振興

議員 つくば霞ヶ浦りんりんロードと筑波山地域ジオパークという本県の誇る地域資源の連携を進めていくことは、地域全体、県全体の魅力の向上に寄与すると考えるが、どう取り組むのか。政策企画部長 ジオパークの活動にりんりんロードの取り組みを活用することは、双方の取り組みの活性化につながると考えており、より広範なエリアのジオサイト※3を巡るサイクリングルート設計などを関係市町村に働き掛けていく。

レンコンの黒皮症対策

議員 レンコン黒皮症の被害が拡大しており、生産者がより取り組みやすい対策が必要だと考えるが、どう対策を進めるのか。農林水産部長 被害状況を正確に把握するための調査を開始した。新しい農薬が登録された場合には、使用法を研究し、生産者に指導していく。簡易な運搬機械の開発のメーカーへの働き掛けなど、残さの適切な処理にも努めていく。(ほかに、急性期を脱した患者の円滑な受け入れ、運転免許を返納しやすい環境づくりなども質問)



レンコン黒皮症の対策を



議員 健次郎 下路
 党 自 所属
 選 民 所属
 方 村 方式

原子力行政についての知事の姿勢

議員 東海第二原子力発電所の最終判断には、首長と議会が建設的な議論を重ねるべき。住民投票は必要性を含め十分に検討し、もし行うなら十分な情報提供を。原子力行政についての知事の姿勢は、知事 再稼働については、安全性の検証と実効性ある避難計画の策定に取り組みとともに、今後新たな広報誌の発行や説明の場を設けるなど、県民に情報提供した上で、適切な時期に市町村や県議会の意見、県民の意見を聴き判断したい。

広域避難計画における屋内退避の重要性

議員 新たな基準で安全性が大きく高まった原子力事業者の体制を行政側が正しく認識し、どう県民に伝え、市町村を支援するのか。知事 屋内退避によりどのような事故でどの程度被ばくが軽減されるか具体的に示されておらず、住民から心配の声がある。その重要性や効果をデータなどでわかりやすく周知し、住民が冷静に行動できるように国や市町村と取り組む。(ほかに、地域の建設業者を育む土木行政の在り方、地域と連携した高校づくりなども質問)



東海第二原子力発電所の最終判断に向け十分な情報提供を



議員 勇 萩原
 党 自 所属
 選 民 所属
 方 市 方式

アウトドアスポーツツーリズムの推進

議員 豊かな自然環境があり、東京に近い本県は、国際的なアウトドアスポーツイベントの開催など、アウトドアスポーツツーリズムを推進すべきと考えるが、所見は、知事 国際的なアウトドアスポーツイベントの招致には、丁寧なニーズ調査や、ターゲットに応じた受け入れ態勢の整備が必要となる。まずは、さまざまな事例の情報収集や効果検証を行うとともに、市町村などの意見も伺いながら推進方策を検討していきたい。

今定例会で可決された議案

議員提出

◆条例等の一部改正

- 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県議会会議規則の一部を改正する規則

◆意見書

- 新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書

知事提出

◆令和二年度当初予算関係

- 一般会計予算(一件) ※修正可決
- 特別会計予算(十三件)
- 企業会計予算(六件)

◆令和元年度補正予算関係

- 一般会計予算(二件)
- 特別会計予算(十三件)
- 企業会計予算(六件)

◆令和二年度補正予算関係

- 一般会計予算(一件)

◆条例の制定および一部改正

- 茨城県行政組織条例の一部を改正する条例
- 職員の特種勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 茨城県地方活力向上地域等における県税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県知事等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例
- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県地方創生拠点整備基金条例の一部を改正する条例

◆条例の廃止

- 茨城県消費者行政活性化基金条例を廃止する条例

◆人事

- 教育委員会教育長の任命について

◆その他

- 包括外部監査契約の締結について
- 県有財産の取得について

◆報告

- 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

ことば ※3【ジオサイト】…ジオパーク(地質や地形を見どころとする自然公園)の見どころとなる場所。
 ※4【Live110】…110番の通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を撮影し警察に伝送するシステム。

予 算 特 別 委 員 会

● 質疑者

3月18日(水)

鈴木 将 (いばらき自民党)

齋藤 英彰 (県民フォーラム)

田村 けい子 (公明党)

中村 (いばらき自民党)

田口 伸一 (いばらき自民党)

3月19日(木)

谷島 洋司 (いばらき自民党)

玉造 順一 (立憲民主党)

山中 たい子 (日本共産党)

臼井 平八郎 (自民県政クラブ)

岡田 拓也 (いばらき自民党)



映像録画は、こちらをご覧ください。

鈴木将委員(自民) 学校給食の停止に伴う食品納入業者などの窮状を把握し、国の早期支援につなげるとともに、給食の安定供給に支障が生じないように、再開に向けた対応が必要だが、所見は。

教育長 食品納入業者などへの支援が早期実現するよう国へ要望する。また、支援策が地域の関連業者に漏れなく行き届くよう情報提供を行う。その他、学校給食調理業者が給食再開に向けて実施する衛生管理の職員研修や設備購入などへの支援も国から示されているため、これらも活用し、食品納入業者などが給食食材を安定的に納入できるように市町村などと連携し対応を進める。(ほかに、新型コロナウイルス対策としてのテレワーク緊急実施の状況と対応、外国人材活躍促進事業なども質問)

齋藤英彰委員(県民) 日立および鉾田児童相談所が設置されるが、その動機と経緯は。また、相談体制は具体的に

にどう強化されるのか。児相の業務量がひっ迫した状況にある中、AIの活用も検討する必要があるのではないかと保健福祉部福祉担当部長 一時保護など現場で迅速な意思決定ができる体制を整備し、児童の安全確保を徹底する。また、職員の増員、虐待事案に対応する専門職員の配置を行い相談体制の強化を図る。AIを活用した児童虐待対応支援システムは、本県で活用できるのか、実証実験が行われている三重県、今後の活用状況を注視していく。

(ほかに、新型コロナウイルスに係る中小企業の支援、GAP^{※1}の推進なども質問)

田村けい子委員(公明) 摂食障害の相談は、精神保健福祉センターや保健所で対応しているが、相談につながりにくい状況にある。相談窓口があることを県民に分かりやすく告知すべきだと考えるが、所見は。

保健福祉部福祉担当部長 相談に対応していることが分かるようホームページを改善していく。また、治療には周囲の理解が不可欠であることから、摂食障害の正しい知識やQ&Aなどの情報発信を強化していく。今後も摂食障害に苦しんでいる人が少しでも早く相談につながるよう努めていく。

(ほかに、新型コロナウイルス感染症対策の強化、筑波山地域ジオパークの推進なども質問)

中村修委員(自民) 人材不足が顕在化する中、ベトナムと締結した協力覚書を踏まえ、今後、外国人材の受け入れをどのように展開していくのか。

知事 ベトナム政府の協力の下、悪質な送り出し機関の排除と優良な送り出し機関との交流強化を図るとともに、

現地での採用面接会開催などにより、県内企業の人材確保を支援していく。また、SNSを活用した相談体制や、ベトナムの職業紹介機関と連携した帰国後の就労支援体制を整備することにより、外国人材が安心して働ける環境づくりを進める。さらに、これらの取り組みを、インドネシア、ミャンマーおよびモンゴルとの間でも進めていく。(ほかに、イバラキセンス、国道二九四号の整備推進なども質問)

田口伸一委員(自民) アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業について、最終的な総事業費約百三十億円の財源や、交通渋滞対策、大幅な集客アップを可能とする方策とは。そして、収支の見通しをどう考えているのか。

知事 ジンベエザメ展示計画に係る財源として国の交付金や県債を活用する。交通渋滞対策として、立体駐車場設置や公有地活用のほか、パークアンドバスライド^{※2}、公共交通機関の利用拡大に取り組み、町と連携しソフト面の対策も図る。また、他の観光施設と連携を密にし入館者確保を図り、定期的なリニューアルなどの魅力向上策で維持していく。収支は、水族館スタッフと協議を重ね、他水族館の状況も参考に試算したもので実現可能と考えている。

谷島洋司委員(自民) 県フラワーパークのリニューアルに期待しているが内容。また、地域住民に愛される施設となるよう渋滞などの課題への取り組みを石岡市と進めてほしいが、所見は。

営業戦略部長 園内を九つのゾーンに分け、バラを中心としたテーマ別の庭園や、地元食材を使ったレストラン、体験型のワークショップなど、年間を通じて来園したくなる施設へリニューアルする。また、渋滞の主な原因は駐

車場の分かりにくさと台数不足にあるため、石岡市で、駐車場の出入口付近の導線やスペースの改善、臨時駐車場整備などの対策を行う予定である。

(ほかに、つくば霞ヶ浦りんりんロードの観光消費額増加への取り組み、新型コロナウイルス対策なども質問)

玉造順一委員(立憲) 国の小委員会は、福島第一原発の汚染水を海洋放出することで「より確実に処分できる」とする報告書を公表した。一方、原発事故後の水産業へのダメージを考えると、元気な農山漁村の創生はかなわなくなる。汚染水の海洋放出への考え方と対応方針は。

知事 これまでの関係者の努力をおもなばかることなく、結論ありきの取りまとめを行うことは容認できない。経済産業大臣からは、関係者などの意見をよく聞いた上で、風評への影響を抑えることも含めた対策の結論を出すとの発言もあつたと承知しており、今後の状況を踏まえ対応していく。

(ほかに、今後の県財政の目標と運営方針、多様性を尊重する県づくりに向けた取り組みなども質問)

山中たい子委員(共産) 難聴児が補聴機と一体で使用する補聴援助システム^{※3}の修理代を含めた費用、成長に合わせて人工内耳の体外装置の買い換えや電池・充電器代などへの経済的支援を求める声が多い。これらの経済的支援の拡充、難聴児在籍校への補聴援助システム整備の拡充について、所見は。

保健福祉部福祉担当部長・教育長 補聴援助システム購入費用は高額で負担も大きい。教育現場などを踏まえ助成対象拡充の検討を進める。人工内耳に係る修理は国で助成対象とする検討をしております。また、この

システムの有用性を市町村に周知し、必要に応じて整備するよう働き掛ける。(ほかに、新型コロナウイルス対策、TX通学定期代引き下げなども質問)

臼井平八郎委員(自民) 激甚化する豪雨災害の状況を踏まえ、国は、県や市町村の河川事業を支援するため「緊急自然災害防止対策事業債」を創設した。この支援状況を受けて、河川の堆積土砂撤去にどう取り組むのか。

土木部長 堆積土砂の撤去は、本来の治水機能を発揮させる対策として、即効性があり有効である。このため、来年度も当支援を活用し、対策を加速化していく。また、事業実施に当たり、コスト削減や掘削土砂の搬出先の確保が重要となるため、民間事業者による砂利採取の活用や、地元市町村の協力を得ながら進めていく。

(ほかに、農産物の輸出拡大、CSF(豚熱)・ASF(アフリカ豚熱)への対策なども質問)

岡田拓也委員(自民) 学校活動に保護者や地域の大人が関わるコミュニティ・スクール^{※4}の取り組みに期待している。また、この導入・運用に当たっては、現在、活動に多くの課題を抱えているPTAとも連携して取り組んで欲しい。今後、どのようにコミュニティ・スクールを展開していくのか。

教育長 地域実態に即した導入が進むよう、市町村教育委員会に、コミュニティ・スクール導入準備に関する国のコンサルタント派遣事業の活用を呼び掛け、好事例の紹介も行う。さらに、県PTA連絡協議会とも情報を共有して同制度の理解促進を図りつつ、各校PTAと連携して展開に取り組む。

(ほかに、自主防災組織の支援、災害ボランティア活動の支援なども質問)

※3【補聴援助システム】…騒音や反響音に邪魔されことなく、離れた話し手の声を、複数の受信者が同時に、クリアな音声で聞くことを可能にするシステム。

※4【コミュニティ・スクール】…学校運営協議会制度を導入した学校のこと。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。

常任委員会の審査から

※常任委員会の質疑は、県内での新型コロナウイルス感染者が確認されていなかった3月12日・13日に行われたものです。

総務企画委員会

つくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力づくりに向けて総延長日本一を目指しては
走行環境や受け入れ環境など
総合的に魅力づくりを進める

問 つくば霞ヶ浦りんりんロードは、潮来ICから神栖市までの十キロをつなげれば、総延長が日本一になり、魅力になる。県の考えは。

答 サイクリングロードの魅力は、走行環境や受け入れ環境、民間サービスの充実などを総合的に勘案する必要があり。県の自転車活用推進計画と整合性を図りつつ、周辺自治体と連携しながら魅力あるコースづくりを進めていく。

問 IBARAKI FREE WiFiは、県西地域では設置施設数が十七施設しかない。地域間の偏在を無くしていく必要があると考えるが、今後の推進方針は。

答 整備が進んでいない地域では理由を把握しながら、戦略性を持って取り組む。例えば県西地域では、圏央道の四車線化などを踏まえ、地域振興と連携を図り進めていく。

問 世界保健機関が新型コロナウイルス感染症をパンデミックと認定し、世界に強い危機感が広がる中、飲食店やホテル、旅館など、地域経済にも深刻な影響が見られる。今後の対応の見通しは。

答 先般、発表された国の第

2弾の緊急対応策は、大規模な、非常に多岐にわたるものとなっており、現在、関係部局と連携しながら、情報収集や対応の検討を進めている。

問 群馬県では、鳥獣被害対策の専門組織を設置し、野生鳥獣の被害防止に取り組んでいる。本県でも、対策を効果的・効果的に実施するため、一元的な組織体制への見直しが必要だと考えるが、所見は。

答 群馬県の事例なども調査した上で、今後の組織の在り方について、一元化した場合のメリット・デメリットなどを含めて、関係部局と連携して検討していく。

(ほかに、県西地域の活性化方策、新型コロナウイルスの影響による県税の納税猶予なども質問)



お花見ライドも楽しめるつくば霞ヶ浦りんりんロード

防災環境産業委員会

大洗水族館新館整備は、周辺地域と十分に協議されたものか
具体的協議は今後だが、魅力向上により二百万人集客は可能と考える

問 大洗水族館新館整備事業は、交通渋滞をはじめ周辺への影響を分析すべきだが、ひたちなか大洗リゾート構想※2の中で協議されたものか。また、目標入館者数を二百万人とした根拠は。収支見直しは、現水族館の地方債残額も含めて試算しているのか。

答 リゾート構想は、個別の取り組みを一体化し地域魅力を深める方向性を示したもので。本事業も構想に沿って進めたい。渋滞対策は、駐車場確保や迂回誘導サインなどの交通対策で車両の過剰流入防止を考えている。現水族館は初年度に入館者数が百六十五万人の実績があり、魅力向上で二百万人は可能と考える。現水族館投資には回収スキームはなく、新館事業は黒字継続による償還が可能という考えである。

問 令和元年東日本台風での被災者への生活必需品の提供について、市町村へより早期に通知すべきだったのでは。

答 仮設住宅入居者などへの生活必需品の提供は、被災市町村に取り組みを促した。今後は、今回を教訓に、早期周知に努め、市町村や協定締結事業者と協力し対応していく。

問 新型コロナウイルス感染症のため、休校やイベント自粛により中小企業売上げが大幅減少しているが、補填策は。

答 国では、休業補償や製造業設備投資への一部補助を実施しており、県では、中小企業向けの融資枠を確保する。

問 中小企業振興公社が不適切な事務処理により国から処分を受け、いばらき中小企業グローバル推進機構※3に移行するが、県にも責任があり、はじめのつけ方があるのでは。

答 指導監督に当たる県の責任を痛感している。深く反省し改善に努めるとともに、本意見は総務部にも伝える。

(ほかにマイタイムライン普及策、小規模事業者のBCP※4策定支援状況なども質問)



現在のアクアワールド茨城県大洗水族館

保健福祉医療委員会

新型コロナウイルス感染症への今後の対策は
関係機関と連携するほか、県内で患者が出た場合は、相談体制を強化する

問 新型コロナウイルス感染症対策について、今後、県としてどう取り組んでいくのか。

答 茨城県新型コロナウイルス感染症対策協議会を主催し、関係機関との連携を図る。また、県内で感染者が確認された場合は、県疾病対策課に設置している相談窓口を二十四時間体制とし、相談体制を強化する。

問 本県の里親委託率が全国平均より低い。里親制度の推進に当たり、今後、県としてどう取り組んでいくのか。

答 家庭的な環境で養育する里親制度について、家庭養育優先原則に基づき積極的に推進する。里親の理解やサポート体制の充実が重要であるため、新年度予算では里親に対する包括的な支援の予算を拡充し、里親制度の普及促進や里親委託率の向上を図っていく。

問 医師不足だけでなく、看護師不足も課題である。看護師の確保に向け、どのように取り組んでいるのか。

答 県では、「養成」「定着」「再

就業」「質の向上」の四つの柱を掲げ、養成所の運営・支援をはじめスキルアップのための研修補助などに、総合的に取り組んでいる。

問 次世代育成プランの代表指標は「理想とする子どもの数と実際の子どもの数の差」を「現状より改善」としているが、数値化すべきでは。

答 結婚や出産に対する価値観が多様化する中、目標を数値化するのではなく、総合的な評価を行うこととした。計画の見直しの際には、県民が夢を持つような数値目標を検討したい。

(ほかに、医師修学資金貸与事業、茨城県食品衛生法施行条例の一部を改正する条例なども質問)



里親制度のさらなる普及促進を

営業戦略農林水産委員会

新型コロナウイルス感染症による
 中国人技能実習生などへの影響は
 農繁期を迎える農家では
 人手不足が懸念される

問 新型コロナウイルス感染症による中国人技能実習生などへの懸念などが報告されたが、現状と今後の対応は。

答 実習生、在留資格「特定技能」を有する中国人のうち、一時帰国者、新規実習生の入国ができず、四月の予定も不透明である。現時点で営農に支障が出ている情報はないが、農繁期を迎える農家では人手不足が懸念され、関係者や団体と情報を共有していく。

問 米の食味ランキングにおいて、連続して特Aをとることで県産米の食味評価向上につなげてほしい。どのように取り組むのか。

答 一昨年の県北地域に続き、昨年は県央地域で特Aを獲得した。高温が品質に影響するため、遅植えして高温期の出穂を避けるなどの取り組みを進めてきたが、引き続き、品質・食味を向上させる技術を取り入れ、継続した特A獲得につなげたい。

問 トップブランドとして位置づける梨の「恵水」※1、豚肉の「常陸の輝き」※2の販売状況は。また、県民への認知度をどう向上させるのか。



トップブランドに位置付ける梨の「恵水」

店で、「常陸の輝き」はミシュラン二つ星のレストランで採用された。まだ供給量が少ないため、都内向け高単価品とのバランスを考えながら、県内販売も増やしていきたい。

問 洗練されたお土産づくりや、インフルエンサーを活用したプロモーションを進めてほしいが、所見は。

答 茨城の食は美味しいが素朴で改良の余地があると考えており、その磨き上げと新しい名物を作ることの両面から取り組んでいく。また、いばらき観光マイスターS級※3など、知識とプレゼン力のある方をPRに生かしていきたい。(ほかに、かんしよの生産拡大、茨ひよりを活用したPRなども質問)

土木企業委員会

令和元年東日本台風により
 被災した河川の復旧状況は
 本復旧工事は
 五月末までに完了予定

問 令和元年東日本台風により被災した河川の復旧状況は。また、住宅地に隣接する河川は市町村と連携し点検する必要があると考えるが、所見は。

答 応急復旧工事は、昨年一月月上旬までに全て完了し、本復旧工事は五月末までに完了予定。河川の点検は、河川法施行令に基づき、出水期前に実施している。また、県水防計画に基づき、重要水防箇所の点検は地元市町村や、沿川住民と共同で行っている。

問 防災・減災、国土強靱化のための三か年緊急対策における事業箇所の選定方法および全体の予算額は。また、令和三年度以降の状況は。

答 点検結果を踏まえ、三年間で集中的に整備効果が表れる箇所を選定した。河川の全体予算額は約七〇億円である。令和三年度以降も引き続き継続してもらえよう、国に働き掛けていく。

問 借楽園有料化後初めての梅まつりについて、新型コロナウイルスの影響もあるが、入園者数や取り組みの状況は。

答 入園者は例年より少ないが、臨時券売所の設置や券の事前販売などの対策を講じ、



借楽園を走るペロタクシー

有料化に伴う混乱はない。新たな魅力向上策として、人力車やペロタクシーの運行、茨ひよりの園内放送、好文亭の呈茶サービスなどを実施した。

問 茨城県開発公社と茨城県企業公社はいつ合併するのか。また、企業公社側の合併のメリットは。

答 七月一日の合併に向け、現在手続きを進めている。企業公社は、県企業局から浄水場の運転管理などを受託してきた。合併により、開発公社の持つ経営のノウハウを吸収しながら、市町村の水道事業に対する支援拡充の足掛かりになるような効果を期待する。(ほかに、公共事業の工期設定、筑西幹線道路の整備状況と今後の見直しなども質問)

文教警察委員会

新型コロナウイルス感染症に係る
 運転免許更新手続きの対応は
 有効期限の延長や再取得時の
 学科・技能試験の免除を行う

問 新型コロナウイルス感染症の影響により、運転免許を更新できない場合の対応は。

答 運転免許の有効期間の末日が、三月十三日から三十一日にある場合、運転免許センターなどで所定の手続きを行えば、有効期限を三か月間延長することが可能である。既に失効してしまった場合でも、再取得の手続きは必要であるが、適正試験に合格し、更新時講習を受講すれば、学科試験と技能試験が免除される。

問 近年、全国的に交番や駐在所が襲撃され、拳銃を奪われる事案が連続して発生している。襲撃に備え、どのような対策を講じているのか。

答 交番や駐在所における安全確保を強化するため、実践的な訓練の実施、装備・施設の改善、組織的な対応などの諸対策を講じている。今後とも対策を推進し、拳銃奪取事案の絶無に努めていく。

問 新型コロナウイルス感染症により小中学校が一斉臨時休業となったが、学校給食費の取り扱いや学校給食業者への支援はどうなっているのか。

答 学校給食費は保護者へ返還するよう市町村に要請した。

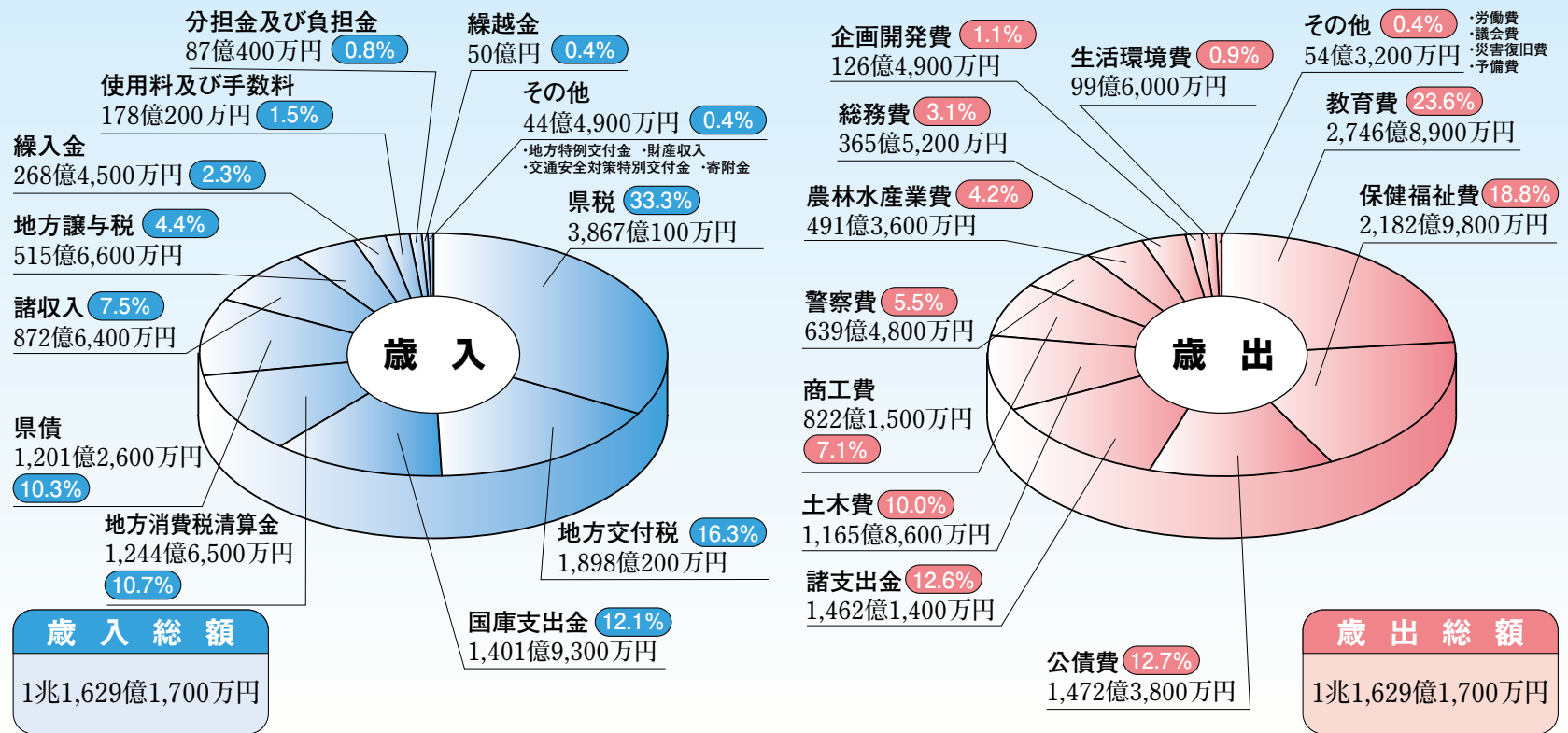


1人1台端末を用いた授業(古河中等教育学校)

問 令和二年度から、県立中高一貫教育校において、生徒一人一台端末によるICT教育が推進される。端末の整備と教員への支援について、今後どう取り組んでいくのか。

答 課題解決型学習、遠隔教育、学びの履歴の記録など、端末の役割や狙いを明確にして取り組んでいきたい。教員に対しては、教育研修センターでの研修や、グループと連携した研修会の開催など、教員の技能を高められるよう支援していきたい。(ほかに、不祥事の防止対策、インターハイ開催に向けた準備状況なども質問)

令和2年度一般会計予算(減額修正後)の内訳



主な事業

1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 県北地域牽引産業・中核企業創出事業** (4,000万円)
 - ・高い技術力をもった企業や研究機関が集積する県北地域の産業競争力を強化
 - ・地域外企業や大手企業等との取引の中心となる県北地域の中核企業等の販路開拓等を支援
- 優良繁殖和牛群整備対策事業** (1億5,500万円)
 - ・常陸牛を世界トップブランドに育成するための一貫した生産体制を構築
 - ・優良な繁殖雌牛の増頭や獣医師による繁殖コンサルティング等を支援
- 茨城経営者育成事業** (1,500万円)
 - ・新たなビジネス展開や生産性向上を志す経営者を対象とした研究会の開設
 - ・各界で活躍する著名な経営者などのトップリーダーを招聘した講義やディスカッション
- 「いばらきの養殖産業」創出事業** (800万円)
 - ・陸上養殖産業の創出にチャレンジするための調査・検討の実施
- 外国人材活躍促進事業** (1億700万円)
 - ・外国人材の確保に向けた就職マッチング機能の強化
- プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業** (8,300万円)
 - ・大手企業人材のセカンドキャリアへの誘導と県内企業とのマッチングを実施

2 「新しい安全安心」へのチャレンジ

- 医師修学資金貸与事業** (7億8,600万円)
 - ・医師を目指す方への支援を通じた医師確保の推進
 - ・医師修学資金の貸与及び海外医科大学卒業生を対象とした支援

- あすなろの郷再編整備関連事業** (9,300万円)
 - ・障害者が地域で安心して暮らすための支援体制を充実
 - ・あすなろの郷の再編整備に向けた用地造成及び既存施設の解体設計
- 国土強靱化3か年緊急対策に対応した防災・減災事業** (122億3,600万円)
 - ・国土強靱化3か年緊急対策に対応した防災・減災対策を推進
 - ・道路の法面対策や橋梁の耐震化、河道改修等
- ICT活用による医療体制強化支援事業** (3,100万円)
 - ・医療機関への「遠隔画像診断治療補助システム」等の導入支援
- 犬猫殺処分ゼロを目指す環境整備事業** (2,700万円)
 - ・地域猫の不妊去勢手術への支援や適正飼育指導員による監視及び指導等

3 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 県立学校先端技術活用教育推進事業** (1億700万円)
 - ・中高一貫教育校におけるICT環境の整備により「学びの質・効率性」を向上
 - ・1人1台端末を活用した授業環境整備、遠隔教育環境や学習支援アプリの導入等
- 外国語指導助手招致事業** (2億4,200万円)
 - ・国際社会で活躍できる人材を強力に育成県立高等学校等への外国語指導助手(ALT)の配置を大幅に増
- 里親養育包括支援事業** (5,800万円)
 - ・就学前の子どもの家庭養育原則を踏まえ、里親委託を強力に推進
 - ・里親リクルートや委託後の里親家庭への訪問支援等を大幅に増
- いじめ問題対策推進事業** (3,800万円)
 - ・SNSの活用などによるいじめ対策の強化

- プログラミング・エキスパート育成事業** (4,500万円)
 - ・中高生を対象としたトップレベルのプログラミング・AI人材の育成
- 図書館魅力向上推進事業** (6,800万円)
 - ・県立図書館におけるカフェスペース設置のための改修工事

4 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業** (当初案3億4,700万円⇒減額修正後4,500万円) (減額修正後の事業内容)
 - ・魅力向上に向けた調査など
- ビジット茨城・観光誘客プロモーション事業** (2億3,000万円)
 - ・都内等滞在インバウンドの誘客促進、市場別戦略に基づくプロモーションの展開
 - ・個人観光客向けオリジナルツアー等の実施、県内周遊バスへの支援によるツアー造成の促進
- スタートアップ・エコシステム拠点都市推進事業** (4,000万円)
 - ・世界的なスタートアップイベントの誘致等により、起業・創業の拠点都市を形成
 - ・「Venture café」によるイノベーション創出支援プログラム・イベントを継続的に提供
- 県北ニューツーリズム推進事業** (4,300万円)
 - ・県北地域におけるロングトレイルコースの整備・プロモーション等の推進
- 県民の森等魅力向上事業** (2,000万円)
 - ・県民の森及び県植物園の魅力向上に向けた計画の策定
- 「茨城をたべよう」食の魅力発信強化事業** (1,800万円)
 - ・企業等と連携した県産品販売イベントを都内で開催

お知らせ

次回の、令和2年第2回定例会は、6月8日から23日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
6. 8	月	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
9	火	休会 (議案調査)
10	水	休会 (議案調査)
11	木	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
12	金	本会議 (一般質問・質疑)
13	土	
14	日	
15	月	本会議 (一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
16	火	休会 (委員会審査準備)
17	水	休会 (常任委員会)
18	木	休会 (常任委員会)
19	金	休会 (魅力向上に関する調査特別委員会)
20	土	
21	日	
22	月	休会 (議事整理)
23	火	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と対策の強化

国に対し「新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める意見書」を提出しました

国においては左記事項について、早急な対応が図られるよう強く要望する。

記

- 一 新型コロナウイルスが、これ以上国内に侵入することを防止するため、空港、港湾等での検疫、入国管理体制の強化など水際での防御に万全を期すこと。
- 二 検査キット、治療法およびワクチンの早期開発に向け官民挙げて取り組むこと。
- 三 感染者を早期に見極めて、感染拡大の防止及び適切な受診と治療につなげるため、検査態勢を強化すること。
- 四 マスクや消毒液、医薬品・防護用具等、感染予防や医療に必要な物資が不足しないよう、供給体制の確保に万全の対策を講じるなど、国内での感染拡大の防止対策を強化すること。
- 五 国民、訪日外国人、地方公共団体に正しい情報を迅速に提供すること。
- 六 観光関連産業や製造業など、経済的に大きな影響を受けている経営体力が弱い中小零細企業に対し、必要な支援を行うこと。
- 七 あわせて、感染の拡大に伴いイベントの中止等が要請されるなか、事業の休止等により休業を余儀なくされた事業者や労働者、その家族が安心して生活できるように、必要な支援を行うこと。
- 八 政府による小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における一斉臨時休業要請に伴う対応として、放課後児童クラブ等の体制整備に向けた支援や、休職せざるを得ない保護者の所得減少に対する補償に係る具体策を早急に取りまとめ示すこと。
- 九 あわせて、授業時数の不足による学力低下等への懸念に対し、必要な対策を講ずること。
- 十 新型コロナウイルス感染症を理由とした風評被害を防止し、不当な差別などを防ぐため、国の責任のもと必要な対策を講ずること。
- 十一 地方公共団体が実施する新型コロナウイルス感染症対策に対し、十分な財政的支援を行うこと。

令和二年三月五日 提出

令和元年度・二年度補正予算案 (新型コロナウイルス感染症緊急対応策) が全会一致で可決されました

新型コロナウイルス感染症拡大にスピード感を持って対応するため、知事から、国の緊急対応策に連動して、県民の命と健康を守り、影響を受ける県内産業などを支援するために必要な予算(令和元年度及び令和二年度合計で約八十一億円)を計上した補正予算案が追加提出され、全会一致で可決されました。

各年度の主な補正予算事業の内容は、次のとおりです。

令和元年度分(八億二千六百万円)

① 感染拡大防止策の強化

- ・入院協力医療機関の空床確保に対する補助など
- ・高齢者福祉施設などにおける感染拡大防止のための資料提供に要する経費

② 影響を受ける県民生活などへの緊急対応

- ・生活福祉資金貸付金の貸付原資の積み増し
- ・特別支援学校などの臨時休業に伴う放課後等デイサービスの実施に対する補助
- ・学校の臨時休業に伴う放課後子ども教室の実施に対する補助
- ・給食中止に伴うキャンセルできなかった食材費の補填などに要する経費

令和二年度分(七十二億八千九百万円)

① 感染拡大防止策の強化

- ・PCR検査自己負担分及び入院協力医療機関の空床確保に対する補助など
- ・高齢者福祉施設・障害者支援施設などにおける感染拡大防止のための多床室の個室化に対する補助

② 影響を受ける県内産業などへの緊急対応

- ・中小企業融資資金貸付金
- ・中小企業信用保証料助成
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業を支援するための融資枠の拡充など

一般会計予算案(アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業)の減額修正

知事から提出された令和二年度一般会計予算案(アクアワールド茨城県大洗水族館新館整備事業)は、次のとおり、防災環境産業委員会、予算特別委員会において審議され、予算特別委員会で提出された減額修正案は、閉会日に討論を経て全会一致で可決されました。

事業の目的・予算案概要

- ・ひたちなか大洗リゾート構想の中核施設であるアクアワールド・大洗にジンベエザメを生涯飼育・展示できる新施設を整備し、さらなる誘客促進を図る。
- ・令和二年度当初予算案では、新施設の整備に向けた設計、ジンベエザメの確保・畜養などに要する三億四千七百万円を計上。

防災環境産業委員会における審査結果

各委員から、本事業には、ひたちなか大洗リゾート構想における位置付け、多額の投資に対する費用対効果や収支見通し、渋滞対策などの周辺環境への影響など、計画に不透明・不透明な点が多くあるとの意見が出され、新館整備の必要性を含め、広く議論をした上で慎重に進める必要があることから、否決すべきものと決定されました。

予算特別委員会における減額修正案の提出・可決

各委員による質疑後、いばらき自民党から、次のとおり本事業予算に係る減額修正案が提出され、公明党、日本共産党、立憲民主党による提出者への質疑を経て、可決されました。

- ・アクアワールド・大洗をはじめ、本県の魅力向上や観光振興に向けた取り組みを否定するものではないが、本事業は、収支の見直し、交通渋滞対策、議会と議会を通じた県民への説明責任などの点で議論・検討が十分ではなく、性急過ぎる。
- ・このため、まずは現状課題となっている交通環境やインフラ整備に向けた調査などが魅力向上の上で必要との認識に立ち本事業の見直しを行い、その結果、予算減額修正案(三億二百万円減額)を提出する。



減額修正案を説明する委員

議会人事

二月二十五日付けで鈴木定幸議員(常陸大宮市選出)が、四月七日付けで谷島洋司議員(石岡市選出)が辞職されました。

また、四月十二日の茨城県議会議員常陸大宮市選挙区補欠選挙で当選した大瀧愛一郎議員が、保健福祉医療委員会委員に選任されました。

新型コロナウイルス感染症緊急対策に必要な補正予算案について審議・可決

令和二年四月臨時会 日程および概要

日程
令和2年4月27日(月)

- ・開会
- ・知事提出議案説明
- ・会派代表による質疑
- ・採決
- ・閉会

概要

令和二年四月臨時会は、四月二十七日の一日間の日程で行われました。

知事から、令和二年度茨城県一般会計補正予算案(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策)などの議案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑が行われました(質疑詳細は次号に掲載予定)。

今回の臨時会では、予算、報告の二件の議案が、可決、承認されました。

代表質疑者

- 館 静馬 (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (県民フォーラム)
- 田村 けい子 (公明党)
- 臼井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 山中 たい子 (日本共産党)

質疑の録画映像は、こちらからご覧になれます



令和二年度四月補正予算案 (新型コロナウイルス感染症緊急経済対策などの概要)

基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症拡大にスピード感を持って対応するため、国の緊急経済対策などに連動して、県民の命と健康を守り、影響を受ける県内産業などを支援する。

補正予算の規模

九百六十三億三千三百万円

主な事業内容

① 感染拡大防止策と医療提供体制の整備など (七十四億九千万円)

- ・県からの休業要請などに応じた事業者に対する協力金の支払い
- ・医療機関の設備整備に対する補助、軽症者受け入れ施設の借り上げなど
- ・高齢者福祉施設・保育施設における感染拡大防止のための資材提供経費など
- ・精神障害者施設への心のケアのための医師の派遣など
- ・感染が発生した高齢者福祉施設での応援職員を受け入れに対する支援など
- ・学校再開後の学習対応などのための非常勤講師の勤務時間増に要する経費

② 県民生活などへの支援 (十一億八千万円)

- ・生活福祉資金貸付金の貸付原資の積み増し
- ・生活困窮者に対する支援員の増員、離職者への住居確保給付金の拡充など
- ・中高一貫教育校、特別支援学校における端末整備などの前倒し、家庭用無線環境の整備
- ・給食中止に伴うキャンセルできなかった食材費の補填経費など

③ 県内産業などへの支援 (八百六十六億六千二百万円)

- ・中小企業に対する事業活動の維持に必要な資金の貸し付け
- ・国の緊急経済対策に対応した融資メニューの創設
- ・国の雇用調整助成金の上乗せ支援
- ・県有施設におけるイベントなどの自粛に伴うキャンセル料返還の補填経費
- ・県産品のお取り寄せサイトを活用した県産品販売キャンペーンの実施
- ・学校給食における県産和牛などの提供に対する補助

④ 今後への備え (十億円)

新型コロナウイルス感染症に関する主な相談窓口

新型コロナウイルス感染症の症状の疑いのある方の相談窓口

- ① 県庁 ☎ 029-301-3200 受付時間：24時間対応 (土・日・祝日を含む)
- ② 県内保健所 受付時間：平日9時～17時

水戸市保健所	水戸市	☎ 029-350-7650
中央保健所	笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町	☎ 029-241-0100
ひたちなか保健所	常陸太田市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町	☎ 029-265-5515
日立保健所	日立市、高萩市、北茨城市	☎ 0294-22-4188
潮来保健所	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市	☎ 0299-66-2114

竜ヶ崎保健所	龍ヶ崎市、取手市、牛久市、守谷市、稲敷市、美浦村、阿見町、河内町、利根町	☎ 0297-62-2161
土浦保健所	土浦市、石岡市、かすみがら市	☎ 029-821-5342
つくば保健所	常総市、つくば市、つくばみらい市	☎ 029-851-9287
筑西保健所	結城市、下妻市、筑西市、桜川市、八千代町	☎ 0296-24-3911
古河保健所	古河市、坂東市、五霞町、境町	☎ 0280-32-3021

事業者向け休業要請・協力金の相談窓口

相談窓口 ☎ 029-301-5375
受付時間 9時～17時(土・日・祝日含む)

※申請方法は茨城県のホームページをご覧ください。

中小企業・個人事業主向け融資・助成制度の相談窓口

相談窓口 ☎ 029-301-2869
受付時間 9時～17時(平日のみ)

※土・日・祝日は以下のメールにて受け付けをします。
[E-mail] chusho-shien@pref.ibaraki.lg.jp